

患者様へ

山梨県立中央病院 感染症対策 ポジションステートメント

(案：2025年2月25日)

山梨県立中央病院は、山梨県の高度医療/がん診療/急性期診療を行う地域基幹病院です。当院が行う感染症対策は、常に科学的根拠と患者さんの利益のバランスを考慮し、更新されます。

2025年2月、インフルエンザの流行が終わりました。新型コロナウイルス感染者はある一定いらっしゃいますが、流行は下火です。すべての職員や患者さんが全員マスクをする「ユニバーサルマスキング」は、地域内で咳やしぶきで広がる感染症が非常に多い時には有効ですが、今の流行状況では意義が極めて小さくなりました。

ですから、私たちはインフルエンザや新型コロナウイルス感染症がある一定の流行を示すときに再度「ユニバーサルマスキング」を職員および患者様にお願いしようと思います。

職員はこれまで通り、適切なタイミングでの感染予防策を順守します。皆様も発熱や咳がある場合などでは、ほかの患者様を守るために、マスクの着用をお願いいたします。また同症状がある場合の面会をご遠慮ください。

いつも山梨県立中央病院の感染対策にご協力いただき感謝申し上げます。